

①

平成30年度
6月補正予算(案)のポイント

平成30年6月6日



平成30年度6月補正予算(案)のポイント

平成30年度6月補正予算(案) 25億2,328万円(一般会計 18億8,922万円)

「地方創生」、「安心・安全」の2つをキーワードに予算を編成

1 予算(案)の規模

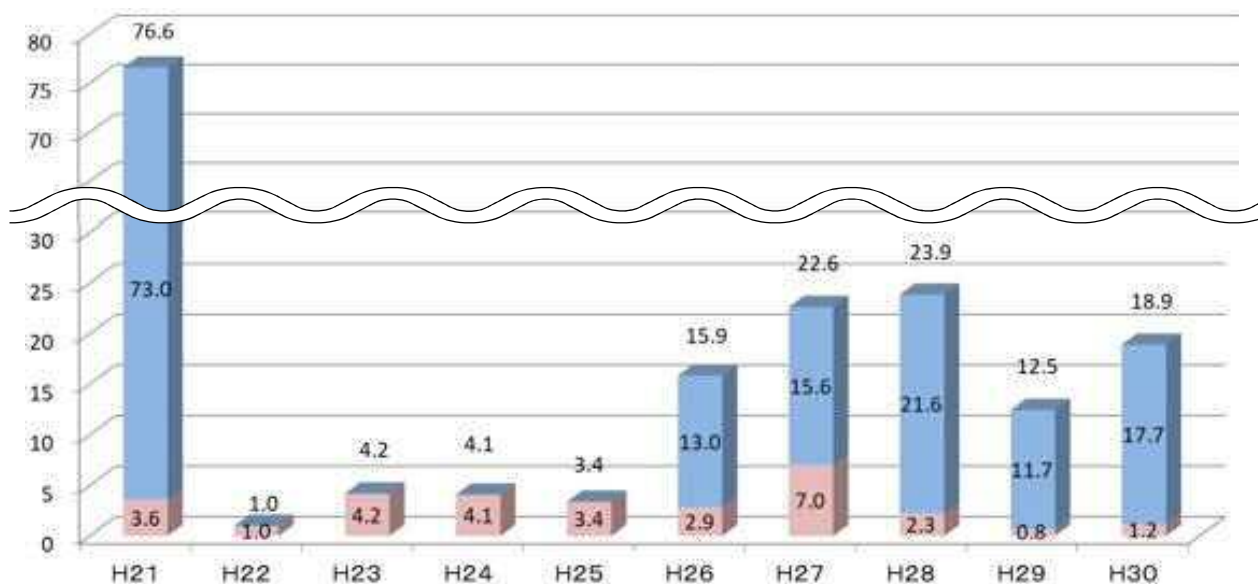
- ★ 一般会計の補正予算は、国庫補助認証の増による約17億2千万円を含む約18億9千万円の増額で、前年度と比較すると約6億4千万円の増加。
- ★ 企業会計の補正予算は約6億3千万円で、水道事業会計において水の相互運用事業の増工等により4億円増額したほか、下水道事業会計において国庫補助認証の増により約2億3千万円の増額。

(単位:千円)

区分	平成30年度 6月補正予算額	平成29年度 6月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	1,889,217	1,245,036	644,181	51.7
特別会計	—	—	—	—
企業会計	634,065	—	634,065	皆増
合計	2,523,282	1,245,036	1,278,246	102.7

一般会計6月補正予算額の推移

(単位:億円)



■ は、国庫補助事業の認証、経済対策、災害復旧、市税払戻等の経費。 ■ は、左記以外。

※一千万円未満は四捨五入。

2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源としては、主に道路整備事業等に伴う国庫補助金や市債などを活用。
- ★ 一般財源としては、平成29年度の決算剰余金(繰越金)を財源とした。

3 主要事業のポイント

(A) 地方創生

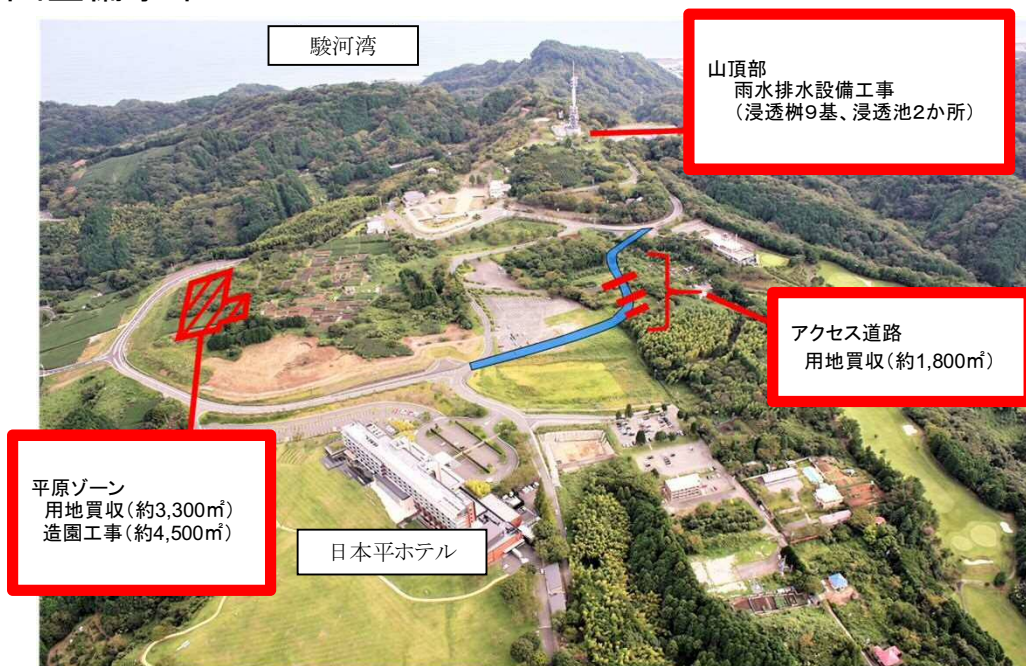
186,721 千円

- ★ 生涯活躍のまち静岡(CCRC)を推進するため、駿河共生地区における地域多世代交流型住宅の整備に向けた手法を検討。
- ★ 交流人口拡大のため、名勝日本平における公園整備や、富士山世界文化遺産構成資産「三保松原」にアクセスするICへの案内標識の整備を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業 (財源:国庫補助金 1/2)	地域多世代交流型住宅の整備に向け、民間事業者が整備・運営を効果的に進めるための手法を検討 ・対象地 駿河共生地区 駿河区南八幡町地内(市有地約2,000㎡) ・内容 事業用地の最適利用用途の検討 施設配置の設定 民間事業者への進出意向調査の実施	8,000
2 日本平公園整備事業 (財源:国庫補助金 1/2、1/3、市債)	名勝日本平の特性を生かし、市民のレクリエーションや観光、国際交流など、幅広い活動ができる場とするための日本平公園整備の実施 ・整備内容 山頂部 雨水排水設備工事 (浸透柵9基、浸透池2か所) 平原ゾーン 用地買収(約3,300㎡) 造園工事(約4,500㎡) アクセス道路 用地買収(約1,800㎡)	122,201
3 道路案内標識整備事業 (交通安全施設整備事業) (財源:国庫補助金 5.5/10、1/2市債)	訪日外国人をはじめ、全ての利用者にわかりやすい道案内の実現に向け、高速道路を案内する標識に路線番号を表示 ・整備箇所 静岡IC・清水ICを中心とする半径5km圏内 (当初予定数) (実施予定数) 35基 → 103基	56,520

日本平公園整備事業



日本平公園

生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業

地域多世代交流型住宅 (イメージ)

高齢者と子育て世代・学生などの多世代が、地域の中で安心して住み続けられるよう、世代間や地域間の交流・つながり(共生)を作り出す複合施設

高齢者向け住宅+子育て世帯・学生向け住宅等
多世代がともに入居

生活環境向上機能
居住者や地域の方が住みやすい環境を整備

(例)介護サービス事業所、子育て支援センター、薬局、商業施設など地域の日常生活を支えるサービスを整備

地域交流機能
居住者や地域の方が交流できる空間

居住者や地域の方の交流や連携を創出し、様々な活動ができる空間を整備

生涯活躍のまち静岡(CCRC) 駿河共生地区

【コンセプト】
交流・共生で「健康長寿のまちづくり」駿河地域モデルの発信

駿河区役所近くに整備する地域福祉拠点「地域福祉共生センター」の開設 (H30.6月オープン) に合わせて新しいまちづくりを推進

- 地域・多世代の交流 (共生)**
地域多世代がつながり、連携して多様なイベントを実施。
- 地域の健康づくりの推進**
地域と地元大学が連携して、健康測定等を通じた「健康の見える化」など新しい取組にチャレンジ。
- 地域福祉の推進**
地域福祉の拠点づくりにより、ボランティア活動など様々な地域貢献活動や、相談できる場づくりを推進。
- 子育て拠点の機能充実**
児童発達支援センター等の整備を行い、既存の待機児童園などととも、駿河区の子育ての拠点機能を高め、地域・多世代の交流も促進。
- 新しい多世代・多機能の住宅の整備**
移住支援と合わせ、高齢者や子育て世代と住むことができる住宅機能と、地域や多世代が交流できる機能を持った複合施設を今後整備。



生涯活躍のまち静岡(CCRC)駿河共生地区位置図

道路案内標識整備事業



高速道路の路線番号を表示した案内標識

(B) 安心・安全

268,300 千円

- ★地震・大雨などの災害に対応するため、橋りょうの補修工事や道路の防災点検などを実施。
- ★木造住宅の耐震化促進のため、耐震補強工事費を助成。
- ★林道の通行車両等の安心・安全のため、大雨による災害の復旧事業を実施。

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
1	橋りょう整備事業 (財源:国庫補助金 5.5/10、1/2 市債)	橋りょうの補修工事などの実施 ・(国)362号(葵区:安西橋)など5か所	114,000
2	道路自然災害防除事業 (財源:負担金、国庫補助金 5.5/10、1/2、市債)	道路の防災点検などの実施 ・(県)三ツ峰落合線(葵区玉川地区)の法面点検など	43,200
3	木造住宅耐震補強事業費助成 (財源:国庫補助金 1/2、 県補助金10/10)	木造住宅の耐震補強に対する助成 ・助成額 一般世帯 60万円 一般世帯(耐震評点0.4未満) 75万円 高齢者等世帯 80万円 高齢者等世帯(耐震評点0.4未満) 95万円 (当初見込み) (現在見込み) ・助成件数 88件 → 150件	52,500
4	林道災害復旧事業 (財源:市債)	平成30年3月の大雨により崩落した林道の復旧事業等 ・工事箇所 林道東俣線(葵区田代) 終点(二軒小屋)から1.5kmの地点 ・工事内容 擁壁工 高さ15m×長さ20m 擁壁補強工 長さ15m	58,600



安西橋の様子



法面点検の様子



木造住宅の耐震補強工事



崩落した林道東俣線